

明日を**選ぼう**

2007
統一地方選

県議選

振り絞る最後の力、走り抜ける17候補

舌戦きよう限り

3月30日からスタートした9日間にわたる県議選もきょう7日がいよいよ活動最終日。東三河の

4選挙区に出馬している17人の候補者は最後の力を振り絞り、土曜日の入出を狙った街頭演説や「桃太郎」作戦を展開するなど、夜の打ち上げ集會まで走り続ける。中には点滴を受けながら走る候補も。戦いは、あと1日だ。

渡会克明候補は朝9時、「二七の市を訪れ、買物客に支持を訴え、次いで午後2時と5時には、それぞれ高師のサンヨネ付近と豊橋駅前街頭演説を繰り返して、9日間の戦いを締めくく

公約実現をアピール

豊橋市区、街頭演説で渡会候補



「公約を必ず実現します」と訴える渡会候補＝豊橋市小向町で

豊橋市選挙区で3期連続の当選を目指す渡会克明候補(公・現)は6日、同市小向町のヤマトストア1前で街頭演説を行った。渡会候補はこのあと、演説を聞いていた主婦らに駆け寄り、1人ひとりに握り、1人ひとりの相談を施策に反映してきたこれまでの実績や政策実現力、教育改革、少子高齢化、防災・防犯対策、街中活性化など、マニフェストに掲げた公約に触れ「皆さんに助かる」と言われるような施策を、地域のために考え、約束どおり実現します。

渡会候補はこのあと、演説を聞いていた主婦らに駆け寄り、1人ひとりに握り、1人ひとりの相談を施策に反映してきたこれまでの実績や政策実現力、教育改革、少子高齢化、防災・防犯対策、街中活性化など、マニフェストに掲げた公約に触れ「皆さんに助かる」と言われるような施策

(武田康弘)